

がん検診の検診料を一部助成します

市内に住民登録のある方は、年度内に1回、検診料の助成を受けられます。70歳以上の方、土浦市国民健康保険加入者、生活保護受給者は無料です。  
**受診方法**／受診券を取得し、協力医療機関で令和4年3月31日までに受診

**受診券の申込方法**／土浦市保健センター、市民課、各支所・出張所に保険証を持って直接、または健康増進課に電話、またはホームページから

**申込締切**／

電話・ホームページ…令和4年3月17日(木)

窓口…令和4年3月31日(木)

※受診券の有効期間は発行日から8週間です。



検診項目	検診内容	対象者	自己負担額
胸部(肺がん)	胸部レントゲン撮影(65歳以上は結核検診を含む)	40歳以上の方	600円(65歳以上無料)
胃がん	バリウムによるレントゲン撮影	40歳以上の方	4000円
大腸がん	便潜血反応検査	40歳以上の方	600円
前立腺がん	血液検査(PSA検査)	50歳以上の男性	1100円
子宮頸がん	子宮頸部細胞診	20歳以上の女性	2300円
乳がん(女性の方)	超音波検診	40歳以上の方	1300円
	マンモグラフィ2方向	40・42・44・46・48歳の方	1600円
	マンモグラフィ1方向	50歳以上の偶数年齢の方	1400円

年齢はすべて令和4年3月31日時点

骨粗しょう症検診の予約を開始します

**対象者**／昭和26年4月～平成14年3月生まれで、市内に住民登録のある女性

**内容**／超音波検査による骨密度測定(測定部位：かかと)

**検診料**／300円(土浦市国民健康保険加入者、70歳の方、生活保護受給者は無料)

**申込方法**／土浦市保健センター、市役所(市民課・1階コンシェルジュ)、支所・出張所、中学校地区公民館、子育て支援センター、子育て交流サロン、児童館で配布する「申込専用はがき」に必要事項を記入し郵送(切手不要)、またはホームページから

**申込期間**／10月29日(金)～11月12日(金)(消印有効)



11月の献血

**日時**／11月7日(日)、

19日(金)

10:15～11:45

13:00～16:00

**場所**／イオンモール土浦(花火ひろば北入口)

健康教室 新型コロナウイルスワクチンについて

土浦市医師会 広田浜夫(ひろたこどもクリニック)

まず、新型コロナウイルスの基礎知識です。新型コロナウイルス感染症の正式名はCOVID-19と言います。coronavirus disease 2019(2019年に発生した新型コロナウイルス感染症)を略した言葉でWHOが命名しました。その原因ウイルスはSARS-CoV-2(severe acute respiratory syndrome-coronavirus-2)です。

現在、世界で2億人以上が罹患し400万人以上が死亡しています。この近代化された世界で経験したことのない危機的な状況が起こっています。そして、この状況を打開するためには今のところ日常生活を制限すること、ワクチンを接種することしかありません。しかし、日常生活を制限することは我慢の限界に近づいてきているようです。ですから、今はできるだけ多くの方がワクチンを接種することが重要なのです。

現在、日本で接種されているワクチンはmRNAワクチン(ファイザーとモデルナ)とウイルスベクターワクチン(アストラゼネカ)の3種類です。これらは今までに使用されたことのない、全く新しいタイプのワクチンです。今までのインフルエンザなどの不活化ワクチンは、ウイルスを構成する一部のタンパク質を注

射し、人間の免疫を動かしていました。今回のワクチンは人の細胞の中にウイルス遺伝子の一部(mRNAやそれを変換させたDNA)を注射します。それを人の細胞の中に移動させ、人にウイルスタンパク質を作らせ免疫を働かせるものです。人の免疫応答は大きく分けて液性免疫と細胞性免疫があります。今までの不活化ワクチンでは液性免疫しか働きませんが、新しいワクチンでは液性免疫に加えて細胞性免疫も働きます。よってこの効果は70～95%と驚くほど高いものです。変異株のデルタ株でも60%以上の有効性があるといわれています。

すでに、多くの人にワクチンは接種されており安全性も高いことが認められています。(ただし長期的な副反応については残念ながらまだ不明な点があります。)現在、デルタ株の感染が主流となり、世界でも再び感染者が増加傾向にあります。また、残念ながら今後も変異株が次々と現れることが予想され、まだまだ収束が見えない状況です。

ワクチンを接種するかどうかは、本人または保護者の選択に任されますが、自分と自分の大切な人は自分が守るという考えが大切なのではないでしょうか。